

重点研究プロジェクト研究会一覧表

別紙

No	研究会名	座長候補者	概要	参加者		
				参加機関名	参加機関数	参加人数
NO.1	ナノカーボン材料開発の世界拠点形成研究会 ～高性能かつ高品質なナノカーボンを低価格で大量合成し、構造物、機能性材料などの用途を拡大～	名古屋工業大学 大学院工学研究科 未来材料創成工学専攻 教授 種村眞幸	高性能かつ高品質なナノカーボンを、低価格で大量合成する手法を確立し、飛躍的に軽くて強い構造物や、一般材料の性能を革新的に向上させる、機械的、化学的、電気的特性に優れた機能性材料の開発を行い、自動車、航空宇宙等への活用を行い、ナノカーボンの用途拡大を図る。	愛知工業大学、豊田工業大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋大学、名城大学、愛知県産業技術研究所、(独)産業技術総合研究所、(財)ファインセラミックスセンター	9	22
NO.2	低環境負荷型次世代ナノ・マイクロ加工技術研究会 ～愛知のモノづくり産業の活力を維持発展させる環境にやさしいナノ・マイクロ加工技術の確立～	名古屋工業大学 大学院工学研究科 産業戦略工学専攻 教授 中村隆	金属をはじめ、難加工性の合金、さらには、炭素繊維強化プラスチックなど、高度な愛知のモノづくり産業を支える素材について、高機能、新機能、そして、高効率な低環境負荷の次世代ナノ・マイクロ加工基盤技術を確立し、マイクロマシン、次世代の自動車、航空宇宙産業等への活用を図る。	愛知工業大学、大同工業大学、豊田工業大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋大学、愛知県産業技術研究所、(独)産業技術総合研究所、(財)ファインセラミックスセンター	9	19
NO.3	人間と協調し地域社会を支える知的ロボット技術研究会 ～セル生産の同僚となる信頼できるコーワーカーロボットと、生き生きコミュニケーションマイクロロボット～	名古屋大学 大学院工学研究科 マイクロ・ナノシステム工学専攻 教授 福田敏男	ロボットの实用化に向けて、最大の課題は、人との協調、コミュニケーションである。モノづくり産業において、多種少量生産に適したセル生産方式で、同僚として人と協調し、人の疲れやミスに対応してくれるロボットや、熟練技術に対応したロボットを開発し、人の作業を支援する。さらに、介護、身体機能補助やセキュリティなど、人への支えとなるロボットも同じ視点で開発する。	愛知県立大学、愛知工業大学、大同工業大学、中京大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、名古屋大学、名城大学、愛知県産業技術研究所	10	21
NO.4	超早期に安全かつ迅速に診断するための生体計測技術研究会 ～医工連携による、ガンや脳卒中などを、無侵襲・低侵襲で超早期に診断する、各種生体デバイス・機器の開発～	名古屋大学 大学院医学系研究科 教授 太田美智男	ガンや脳卒中中等を、無侵襲、低侵襲で、超早期に安全かつ迅速に診断するための生体計測技術を確立し、各種生体デバイスや機器を開発する。さらに、メタボリック症候群などに対して、生体情報を日常的モニタリングする生体計測技術を確立し、生活習慣病のための、外部から客観的に見守るシステムを開発する。こうした計測情報に基づき、ひとりひとりの体に合わせたテーラメイド治療を支援する。	愛知学院大学、愛知県立大学、中京大学、豊田工業大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、名古屋大学、愛知県がんセンター研究所、愛知県産業技術研究所、(独)産業技術総合研究所、大学共同利用機関法人 自然科学研究機構分子科学研究所	12	22
NO.5	食の安心・安全に関する研究会 ～農工連携による、食品に混入した残留農薬、異物、微生物などのオンサイト、低価格、迅速なセンシング技術～	豊橋技術科学大学 エコロジー工学系 教授 田中三郎	食品に対する、残留農薬や動物医薬品などの化学的混入物、金属、髪の毛、プラスチックなどの異物、そして微生物を、食品流通過程内のオンサイト、低価格、迅速にセンシングし、わずかな量でも検出できる各種計測技術を農工連携により確立し、安心・安全な食品を提供する。	愛知工業大学、中部大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、名古屋大学、名城大学、愛知県産業技術研究所、愛知県農業総合試験場	9	14
NO.6	健康の回復・維持・増進のための機能性食品と住空間の開発研究会 ～愛知発おいしい機能性食品の開発と、家族みんなが心地よく安心で安全な住空間の提供～	名古屋大学 大学院生命農学研究科 応用分子生命科学専攻 教授 大澤俊彦	いつまでも健康で快適な生活を送るために、厚生労働省許可の特定健康用食品など消費者にわかりやすい愛知発のおいしい機能性食品を用途(脂肪消費、血圧抑制など)別に開発するとともに、高齢者をはじめ家族みんなが心地よく健康で過ごせる住空間として、いつでも家族の健康を管理・把握できるシステムづくりから、住宅内で発生する健康阻害物質、臭気等の除去・処理など、幅広い住設備を開発する。	愛知学院大学、愛知県立大学、椛山女学園大学、大同工業大学、中部大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、名古屋大学、名城大学、愛知県産業技術研究所、愛知県農業総合試験場、(独)産業技術総合研究所、国立長寿医療センター	14	21
NO.7	交通死亡事故ゼロを目指した知的予防安全技術の開発研究会 ～運転者の生体・行動情報を検知し、運転者のミスや未熟に起因する交通事故を防ぐ～	名古屋工業大学 大学院工学研究科 創成シミュレーション工学専攻 教授 岩田彰	運転者のさまざまな生体情報、行動情報をセンシングし、その状況を解析する技術を確立し、運転者のミスや未熟に起因する交通事故の発生を予測する技術を開発し、自動車メーカーを中心に進められている最適な車両制御につなげる。そして、車車間、路車間(含む歩行者情報)のネットワークに、こうした運転者間相互情報を加え、総合予防安全交通システムを実現する。	愛知県立大学、中部大学、豊田工業大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋大学、名城大学、愛知県産業技術研究所、国立長寿医療センター	9	17
NO.8	クリーンエネルギー技術に基づく低炭素社会実現のための研究会 ～燃料電池と太陽電池の最大課題を解決し、自動車用、家庭用クリーンエネルギーの実用化～	名古屋工業大学 大学院工学研究科 未来材料創成工学専攻 教授 野上正行	燃料電池と太陽電池は、高効率、長寿命、低価格に共通課題を持つ。特に、燃料電池は電解質、触媒、電極が研究途上にあり、太陽電池も、色素増感型など非シリコン系の新素材への転換が求められている。燃料電池と太陽電池をクリーンエネルギー転換への切り札として捉え、それぞれの最大の課題を集中的に研究し、自動車用、家庭用への普及を図る。	愛知工業大学、大同工業大学、中部大学、豊田工業大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋大学、名城大学、愛知県産業技術研究所、(財)ファインセラミックスセンター、大学共同利用機関法人 自然科学研究機構分子科学研究所	11	19
NO.9	持続可能な循環型社会を支える資源リサイクル技術研究会 ～希少資源対策技術から、新しいリサイクル技術、バイオマスの有効活用まで、幅広い環境技術の確立～	名古屋大学 エコトピア科学研究所 特任教授 伊藤秀章	モノづくり産業に不可欠な希少資源の回収・代替から、金属、セラミックス、プラスチックの新しいリサイクル技術、さらにバイオマスの有効活用まで、幅広く環境技術を確立し、環境と産業が統合した循環型経済社会システムを構築する。	中部大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋大学、愛知県産業技術研究所、(独)産業技術総合研究所、(財)ファインセラミックスセンター	7	18
NO.10	地球の自然を守る環境浄化システム開発研究会 ～温暖化ガスの排出抑制・固化和、大気・水・土壌の浄化技術の確立～	名古屋大学 エコトピア科学研究所 教授 片山新太	愛知万博の理念の継承、モノづくり愛知の責務として、自動車や工場から排出される温暖化ガスの排出抑制・固化和技術、大気汚染物質の浄化技術をはじめ、水浄化、工場跡地などの土壌汚染修復、さらにはアスベストなどの有害物質の無害化について、低価格、省エネルギーで、中小企業でも容易に導入できる技術を開発する。	愛知県立大学、愛知工業大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋大学、愛知県産業技術研究所、愛知県農業総合試験場、(独)産業技術総合研究所、(財)ファインセラミックスセンター	9	19

[13大学(50音順)]愛知学院大学、愛知県立大学、愛知工業大学、椛山女学園大学、大同工業大学、中京大学、中部大学、豊田工業大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、名古屋大学、名城大学 [7公的研究機関]愛知県がんセンター研究所、愛知県産業技術研究所、愛知県農業総合試験場、(独)産業技術総合研究所、国立長寿医療センター、(財)ファインセラミックスセンター、大学共同利用機関法人 自然科学研究機構分子科学研究所	総参加機関数 20機関	への参加人数 192名
--	----------------	----------------